

# プロフィール

- ・フルネーム：ミスティリカ・レックス
- ・性別：女
- ・家族構成
  - 父：ミスト・レックス
  - 母：アンジェリカ・レックス（旧姓シャルティール）
- ・属性：わたして最低の屑ね！
- ・基本年齢：17歳
- ・所属：OG学園 高等部2年B組
- ・容姿：アンジェリカが常時軽くアへ顔をしているような感じ
- ・特技：カクテル作り、妄想、
- ・愛称：ミスティリカ、陵辱志願、陵辱フェチ、陵辱メガネ、曇りメガネ、変態、ド変態、最低の屑

「わたして、なんて最低の屑なのかしら」  
「ああ、メガネ曇るわ」

## 人物

一人称は「わたし」。

母アンジェリカが姫騎士姫騎士最低の屑と陵辱ゲー呼ばわりされ続けたため、いい具合に最低の屑に育つ。  
毎日朝が来るたびに「毎晩妻を陵辱せずにはいられない俺に人の親たる資格はあるのか」と自己嫌悪にくれる父親を見ては興奮していた。

理想のタイプは  
「自分をグチャグチャに陵辱した後、自殺しかねない自己嫌悪に陥るような人」。  
まさに理想像そのものであるゼフィアを一目で気に入り、陵辱をせがむ。  
ゼフィアに恋人がいても一向に構わず、勝手な妄想をしてはメガネを曇らせる。  
むしろメガネが曇っていないときがない。

父親の故郷であるアトリームのことをよく引き合いに出すが、ろくでもない要素ばかりなので、「そんなだから滅ぶんだ」などといわれる。

未成年だがカクテルを作るのが得意。  
もちろんノンアルコールと偽ってアルコールを混入するなど最低な屑としての義務は忘れない。

現在は親元を離れ、OG町で一人暮らしをしている。理由は最近ルージュ姉妹が頻繁に遊びに来るようになり、母の嫉妬と父の自己嫌悪で家庭内が殺伐としてきたため、ここで夫婦の愛の絆である自分が家を出たらどんなことになるか楽しみで仕方ないから。どこまでも最低の屑である。

## 関連する人物

- ・ミスト・レックス

父親。一見前向きな異邦人キャラのようであり、意外とゆがんだ性根を持っていることで名高いスパロボK主人公。結婚してから歪みに拍車がかかったようで、毎晩妻アンジェリカに陵辱まがいのメイクラブをしては翌朝自己嫌悪に陥っているらしい。

地球連合軍とは別の組織である地球防衛隊に所属しており、連合軍とは微妙に派閥争いをしている様子。揉め事の原因になるような防衛軍に存在価値はあるのかなどといわれる。

- ・アンジェリカ・レックス（旧姓シャルティール）

母親。スパロボオリ屈指のギスギスした恋の鞘当てを演じたことで名高いKヒロインの一人。姫騎士かどうかは定かでない。

- ・シェルディア・ルージュ

両親の友人。スパロボオリ屈指のイラッとくる空気の読めなさを披露したことで名高いKヒロインの一人。ミストとは結局兄妹のような友人関係に落ち着いたようだが、今も妹レムと共にちよくちよくレックス家を訪れては、アンジェリカを嫉妬と自己嫌悪のどん底に突き落としている。

- ・[ゼフィア・ゾンボルト](#)

理想の男性。今日もミスティリカのメガネを曇らせる。

- [ラン・ドバン](#)

恋敵、またはオカズ。

- [紫雲克夜](#)

騎士道と姫騎士道は微妙に食い違うらしい。